

OES006-01

会場:国際会議室

時間: 5月23日09:45-10:20

スノーボールアース

Snowball Earth

田近 英一^{1*}

Eiichi Tajika^{1*}

¹東京大学大学院理学系研究科

¹University of Tokyo

かつて地球全体が完全に凍りついていた、ということが明らかになってきた。それも一回ではなく、少なくとも三回以上そのようなことが生じたらしい。いまから約6億5000年前、約7億年前、約23億年前のことである。それらの時代においては、現在南極大陸を覆っているような広大な大陸氷床が、当時の赤道域に存在したとする証拠が見ついているのだ。理論的にそのような状況を説明するためには、地球全体が凍結したと考えるほかはない。当時の地球は、「全球凍結」状態に陥っていたのである。このような考えを「スノーボールアース仮説」と呼ぶ。スノーボールアース仮説に基づくと、当時の地層に見られるいくつもの不思議な特徴を説明することができる。だが、説明の難しい問題もある。さらには、残された謎も多い。本講演では、スノーボールアース仮説の成立過程を分かりやすく紹介し、その問題点や地球史における位置づけについて解説する。

キーワード:スノーボールアース,地球史,古気候

Keywords: snowball Earth, Earth history, paleoclimate